

SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyaの略です）



《不定期連載》
正文舎の制作事例
Review of CREATION

《今回のお客さま》
株式会社
ストリームスポーツ・
クリエーション 様

正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「S」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**
SOLUTION~ソリューション・プロバイダーを目指して

TOPICS ————— 公式SNS人気投稿ベスト3

New&Goods ————— 一見無駄に見えるものに…

Focus on JAPANESE ————— 外行語



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Illustration_Adobe Stock

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

SOLUTION

Text_Kishi Masahiro

ソリューション・プロバイダーを目指して

səluːʃən [名詞] 「回答」や「解決すること」などの意味。企業がビジネスやサービスについて抱えている問題や不便を解消すること。ソリューションを提供する事業者は「ソリューションベンダー」あるいは「ソリューション・プロバイダー」と呼ばれる。

私 たち正文舎は、創業85年を迎えました。これもひとえにいつもお世話になっております皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

新たな年を迎え、当社では毎年掲げている全社目標が心機一転新しくなります。

今年のスローガンは、

「変わるべきこと、守るべきことを見極めよう」

です。目まぐるしい時代の変遷の中で、売り上げ品目の変化や業務内容、働き方など、「変わるべきこと」があります。逆に我々が築いてきた社歴の中で、守るべきことや時代の移り変わりに左右されないことがあります。変わるべきこと、守るべきことをこの1年を通して会社全体で見極めようという目標です。



Photo_Adobe Stock

従来、常識や慣例だと思っていることを一度立ち止まって考える習慣をつけること、今まで当たり前だと思っていたことや前任者から引き継いだまま行っていることが、更にいい考え方や方法がないかを今一度鑑みすることを習慣化することを目指します。

今までそうだったからという理由で、非効率的なやり方をしていないのか？ 今までの考え方ややり方で、我々が今まで培ってきたスキルを最大限に活かせるのか？ お客様のお役に立っているのか？ が、基準となります。

この取り組みを通じて、一人ひとりが働いている時間の管理を徹底し、ムダを洗い出し、スキルアップ、多能化を目指していきます。

また、「無くせないか」、「一緒にできないか」、「順序変えられないか」、「単純化できないか？」を常に心の片隅に置き、今までの慣習や慣例と照らし合わせて、変えられないのか？ 逆に変えない方がいいのを見直していくことを繰り返します。

掲げた目標が絵に描いた餅にならず着実に達成するためには、今まで以上に密なコミュニケーションが不可欠となり、その機会を頻繁にする取り組みが必要になります。

創業85年を機に原点に立ち返り、様々なことを見直すことにより私たちが有しているサービスラインにより重みを付け、ソリューション・プロバイダーとしてお客様のお役に立てることを目標とします。

ソリューション・プロバイダーとは、企業がビジネスやサービスについて抱えている問題や不便を解消することで、弊社が所属する全日本印刷工業組合連合会の産業戦略デザイン室が2013年に刊行した、「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化～」に掲載されている戦略ビジョンです。この中でソリューション・プロバイダーに必要な3つの要素として、

「**原点回帰**」 自社の強みを認識し、そこに重みをつけた営業戦略に転換していくとともに強みをプレゼンテーションできるコミュニケーション能力を身につけることが必要であり、

「**ワンストップ対応**」 顧客が何を必要としているかを想像し提案し、それを実現できるネットワークを持つことが肝要であること、

「**経営者の志**」 なぜこの仕事をするのか、なぜこの会社で働くのか、経営者はその問いに対する答えを大義に求め、明確に示さなければならないとあります。

仕事を通じて得られることは、「人に褒められること」、「人の役に立つこと」、「人に必要とされること」だと私は考えています。今後より一層、社会に必要とされ、地域と共に歩み、社員が働きがいを持つ会社作りをこれからも目指していく所存です。

Illustration_Urata Hisanaga

TOPICS

正文舎 公式 SNS 2019年の人気投稿ベスト3

Text & Photo_CR-labo SNS Project Team

正 正文舎の公式SNSには、Twitter、Facebook、Instagramの3つがあります。2019年、SNSプロジェクトチームを結成し、それぞれの目標頻度で投稿をしてきました。

公式SNSチームを立ち上げた理由は、主に次の3つでした。

- ① 既存のお客様や、見込み顧客の方に「この会社におもしろい」と思ってもらえるよう、タッチポイントを増やして、正文舎を知っていただき、好きになっていただければ嬉しい。
- ② 正文舎が、単純な印刷やWeb作成だけでなく、「コンテンツを生み出せる会社」であることを知っていただけたら嬉しい。
- ③ 情報発信を地道に継続することは、なかなか大変なもの。チームで発信することで、部署を超えて助け合い、苦楽を共にする（大げさ？笑）チームで継続できたら最高。

まだまだ、どんなコンテンツで喜んでいただけるか手探り状態でもありますが、2020年も「継続は力なり」をスローガンに、コツコツ発信してまいりますと考えています。

お	皆	弊	令
願	さ	社	和
い	ま	の	二
し	ま	情	年
ま	よ	報	も
す	ろ	を	、
。	し	発	楽
	く	信	し
		し	い
		ま	話
		す	題
		。	や



twitter いいね数ベスト3&担当者コメント



①ある日 #企業公式冬のフォロー祭り というハッシュタグがあると聞いて、面白そうだから乗ってみた。このハッシュタグを付けて自社の紹介をすると、沢山の企業公式アカウント様から「いいね」と「フォロー」が貰えたよ。このツイートをしてからの数日間は、通知がひっきりなしに来てビックリした。



https://twitter.com/syoubunsysa_p/status/1202013672438038528

②そして #企業公式冬のフォロー祭り の翌週のツイート。祭りをきっかけにフォロワー数とフォロー数が100以上も増えたから、改めてぼくの紹介をしたんだ。12月9日は「地球感謝の日」なので地球さんにも感謝。なんだか地球まみれの絵だね。



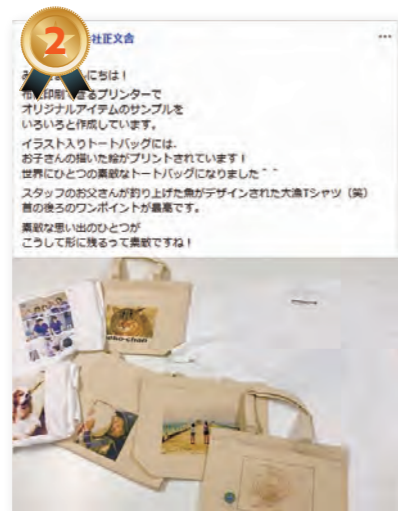
https://twitter.com/syoubunsysa_p/status/1203845135345209344

③またもやハッシュタグに便乗。トレンドに #闇堕ちるとどうなるのか というハッシュタグが上がっていたんだ。ぼくこれ見た瞬間あつという間に「ダークサイド」に墮ちてしまった。ちょうど映画「スター・ウォーズ/スカイウォーカーの夜明け」が公開になる週でグッドタイミングだったね。



https://twitter.com/syoubunsysa_p/status/1207453249302720512

Facebook いいね数ベスト3&担当者コメント



①正文舎の初のイベント「紙フェス」後の投稿です。ご来場いただいたお客様にも協力していただき、写真も掲載させてもらい、イベントの雰囲気がよく伝わった投稿になったかと思います。

https://www.facebook.com/Syoubunsysa/posts/3159569334117629?__tn__=-R



②Tシャツやトートバッグに印刷できる布プリンターのご紹介。お子さんやペット、釣った魚など、社員から集めたお気に入りの1枚でサンプルを作成しました。個人的には大漁Tシャツが気に入っています(笑)

https://www.facebook.com/Syoubunsysa/posts/2962175580523673?__tn__=-R



③中の紙が自由に入れ替えられるマグカップ型タンブラーのご紹介でした。中に入れたロゴの紙をぐるっとみせたくて、写真ではなく動画にしました!

<https://www.facebook.com/watch/?v=2386040024775907>



Instagram 担当者が選ぶベスト3&コメント



①紙フェス

紙フェス終了後の投稿です。「親子で毎日絵を描いています。ありがとうございました。」とコメントをしてくださった方がいて、その絵が頭に浮かび、ほのぼのとなりました。

<https://www.instagram.com/p/B5bpvuEA6OK/>



②お菓子花

もっともファボのついた投稿です。(19ですが…)「お菓子花」とタイトルをつけて何度か投稿しました。これからもたまに載せようかと思っている投稿です。

https://www.instagram.com/p/BzH_b5RJB1q/



③SNSチーム

逆にもっともファボは付いていない投稿なのですが(笑)、結成されて間もないSNSチームのインスタらしい、雰囲気の良い写真で気に入ってます。これからも頑張りますよ的な意味でも選んでみました。

<https://www.instagram.com/p/ByHtrU1JIS6/>



令和2年も正文舎【公式】SNSを、どうぞよろしくお願いたします。

③ 外行語

新年を迎えました。今年は特別な年、オリンピックイヤーです。小池都知事が「合意なき決定」と言っていたマラソン・競歩の札幌開催。課題はあれど、決まったからには盛り上げていきたいですね。

小池都知事といえば、新年のあいさつはやっぱり「ハッピーニューイヤー」でしょうか。会見で、「税金のワイズスペンディング」「いままでの議論をアウフヘーベンし、…」など、外国語をバシバシ使われるので、凡人が理解するにはグーグルさんが必要です。

さすがに小池都知事レベルになると特殊ですが、日本では外来語が身近にあふれています。そしてもちろん、外来語があるのなら、「外行語」もあるのです。

日本のポップカルチャーが海外で人気になるにつれ、「otaku」「kawaii」などの日本語が、そのまま海外で通用するようになりました。和食が注目され、わざわざsoy sauceと言わなくても「shoyu」で通じるともいいます。あまり知られていないところでは「futon」があります。日本語の「布団」が借用語^{*}として英語化したのだそうです。欧米人が布団?と思うかもしれませんが、その指し示すものは、日本の「布団」とはかなり異なり、ソファベッドのようなものようです。

(参考:ことば研究館 <https://kotobaken.jp/>)

※もともとは他の言語から取り入れられた語ではあっても、その言語に同化し、全く日常語化してしまっているような語。日本語における「さけ(鮭)」「アイヌ語」「だんな(旦那)」「サンスクリット」「きせる(煙管)」「カンボジア語」などの類。(出典:小学館「デジタル大辞泉」)



Photo_Adobe Stock

また、韓国ドラマを視聴する方なら経験があると思いますが、セリフから「カジョク(家族)」とか「ジュンビ(準備)」など聞こえてきて、「あれ、日本語?」と驚くことがあります。韓国の場合は、日本が植民地支配していた時期に日本語が伝わったケースもあれば、中国から同じ言葉が日本と韓国に伝わったケースもあるため、必ずしも日本からの「外行語」とは限らないのですが、いずれにせよ、とても面白いです。

日本語で適当な言葉がないため外国語をそのままカタカナ表記するのは当然のこととして、日本語があるのに、必要以上に外国語を使用するのは個人的にはあまり好きではありません。けれども、外国で日本の言葉がそのまま通用したりすると、ちょっと嬉しい気持ちになってしまうのです。

校正の現場から。

「味わう」という言葉。「料理を味わう」「その場の雰囲気味わう」など日常的によく使用する言葉だと思いますが、では、誰かに味わってもらおうとき、どう書きますか。①味わわせる/②味あわせる活用を考えればすぐわかるのですが、一瞬迷う方もいると思います。正解は①です。なぜ迷うのかというと「『～わわ～』という『同音の連続』を避けたいという意識が^{*}働いてしまうようですね。

※NHK放送文化研究所より引用 https://www.nhk.or.jp/bunken/research/kotoba/20160601_3.html

一見無駄に見えるものに宝が眠っているかも

新年おめでとうございます。今年も正文舎をよろしくお願いいたします。

2019年最後の部門会議で、「2019年はどんな年だったか」と「2020年はどのような年にしたいか」という話をスタッフに聞きました。「ざっくりしていますね」という声も上がったのですが、こういうざっくりとした質問はその人の本音が現れるものです。「はい・いいえ」で答えられたり、具体的な答えがある質問とは違い、その人が自分で考える必要があるからです。

「何でもよいので思い浮かんだことを話してね。」と言うと、戸惑う人もいたと思います。学校教育では、正解がない質問をされる経験が少なく、慣れていないからです。

ぱっと思いついたことを言える人、なかなか言葉が出てこない人、人が話をしているときにさささと言うことをメモする人、話のまとまりがなくなってしまう人、一人ひとりが個性的な反応をしてくれました。要は話した内容や態度が大事なのではなく、自分に問いかけてその質問に向き合うことが大事なのです。ですから、どのような話になってもOKです。いずれにして

も、みんな2019年の振り返りと2020年の方向性について、自分に質問したことになるので、そのうちに答えが出てくるでしょう。

効率のよい会議では、確認事項・審議事項をあらかじめ提示し、スタッフがさっと答えたり、審議して結論を出すことが求められます。このような会議も必要です。

ですが、それだけでは「人を活かす」経営にはならないのではないかと私は考えています。一人ひとりの個性を生かして活躍してほしいと願っているのも、まず一人ひとりの個性をお互いに知る機会を作っているのです。

会議ではスタッフ同士で、その人がどんなに部署に貢献してくれているか話してくれる場面もありました。

一人ひとり話すときが必要で、無駄なように見えるかもしれないのですが、眠っている宝物を見つけられるのではないのでしょうか。

さて、みんな2020年にどんな活躍をしてくれるのでしょうか。とても楽しみです。



Illustration_Adobe Stock

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリент赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【 商業印刷物 】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物 流 資 材 系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【 出版印刷 】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【 業務用印刷 】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、
賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
本社 TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリент赤坂モートサイド805
OFFICE TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200sにおいて、在庫紙を使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定の
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの
資格を持った制作者が多く在籍しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会による
CSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840 / ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014
情報セキュリティマネジメントシステム
の認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときに
どこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer ■ Kishi Masahiro
Topics Writer ■ Ebina Mikiko
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Review of CREATION Writer ■ Ebina Mikiko
Editor ■ Tokunaga Moe
Editor ■ Honma Kazumi
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA